

# 内航海運の明日を考える会ニュース

貨物定期航路の発祥地大阪において内航海運の明日を切り開き何としても展望を見出そうと、4つの組合でつくれた「内航海運の明日を考える会」です。ヨロシク!!!



明日を考える会のスキルアップをめざす勉強会も今回で七回目を迎えます。今回の講師は、その筋では博学で名の知れた近畿運輸局貨物・港運課の専門官であります有原秀紀氏。日本の歴史をさかのぼること5世紀から紐解くありがたいお話でした。今回のテーマは「船と海運にまつわる歴史とコンプライアンス」サブタイトルは「内航海運を中心に歴史を紐解きます」でした。講演時間は約一時間、まずは船舶と世界史と題して、紀元前四千年エジプト人が葦船を発見から始まり、木造船・ガレール船・ジャンク船の発明と続き、帆船と蒸気船・ディーゼル船・コ

## 第七回「あすなる会」開催 船と海運にまつわる歴史とコンプライアンス 近畿運輸局有原専門官大いに語る

ンテナ船、そして、国際条約の制定、環境規制の本格化と歴史を概観し、次は日本に目を転じて、五世紀ころ渡来人により造船や航海技術が進歩してきたがこの頃の船は割竹型の割り船、日本書紀の応神記にある新羅今の韓国の逸話を紹介。そして、飛鳥く平安く鎌倉く室町く江戸ときて、松垣廻船・樽廻船・北前船が登場。明治く終戦まで、



コンプライアンス編では、海事法令の特徴、規制の観点、コンプライアンスの登場、ケーススタディでは内航海運業法の例として、海運業者の所有船がなくなった時の留意点などを示

## 第42回明日を考える会 二つのまつり出展・横断幕掲出 区長の大正内港視察を議論

明日を考える会は、第四十二回を開催し、内航海運研究会との適正運賃等検討会の準備会の報告を行うとともに議題としては、三週間のうちに二つのまつりがある状況の下で、参画の妥当性、また、大正コミュニティセンター外壁の横断幕の掲出と大正区長の大正内港現場視察の実現を議論しました。大正区民まつりでは昨年センター二階事務所前の松垣廻船の展示と広報資料の提供に止めた事情があるものの、地元とのつながりが希薄にならないかとの指摘があり、天保山まつりとの参画比重を見直すべくPR部会に差し戻すことになりました。

### これからの活動計画

- 7下旬 #56PR部会開催予定
- 8/8 (木) 第6回合同会議
- 9/9 (月) #43明日を考える会
- 10/20 (日) #47大正区民まつり
- 11/10 (日) #12天保山まつり
- 時期未定: 適正運賃検討会



横断幕の掲出は大正区のネイミングライツの現状を把握し、三度目の掲出に挑戦することを確認し、区長の現場視察は窓口を通じて日程調整のうえ実現することを確認しました。次回の四十三回は九月九日、曜日後三時から開催を確認し、議事を終了しました。



「ナイコウ」くんです。

右の写真は、当会自慢のマスコットの「ナイコウ」くんです。コツメかわうそです。平成25年に公益社団法人大阪港振興協会から譲り受けて早や六年、その間、大正区の子どもたちと仲良くしてもらいました。二メートルを超える巨体ゆえ恐怖に最初は泣かれ、折りたたみ椅子に座ってやつと握手と頬刷りに変わりました。これからもナイコウくんをよろしくお願いします。



ロゴマークです。ヨロシク

右のロゴ・マークは当会独自に作成したものです。貨物船が今まさに大海に出て行こうとする瞬間をイメージしています。このマークは、どちらの海運組合さんでも自由にお使いいただいで結構ですよ。名称を変えていただければ、いつでもOKです。環境に優しい内航海運を広く国民・市民にアピールしまし